

## 第89回番組審議委員会議事録

日時：令和2年12月23日（水）13時30分～

場所：富士市民活動センター/コミュニティエフ（富士市吉原2丁目10番20号）

1. 委員総数10名
2. 出席委員数4名
3. 出席委員の氏名  
遠藤芳幸 委員長  
土井一浩 副委員  
稲葉美津江 副委員  
長橋 順 委員（順不動）
4. 放送事業者出席者名  
小沢教司 常務取締役・山本茂 統括部長 2名

遠藤番組審議委員長：ごあいさつ

皆様ご苦勞様です。今年に入り、新型コロナウイルスの感染拡大が今だに続いています。正月明けには良い状態になっていればと祈る次第ですが皆さんも是非、お気を付けて良いお正月をお迎えください。今日は忌憚のないご審議をよろしくお願い致します。

小沢常務取締役：ごあいさつ

皆様、今日は比較的暖かいですが、コロナが蔓延する中、お越しいただき、ありがとうございます。今日から富士市の飲食店2100店舗、お酒を扱う店やカラオケ店も対象になりますが、1/5までの期間、午後8時までの時短営業すれば1店舗あたり1日4万円の補助金が出るそうです。皆様、新型コロナウイルスに十分お気をつけください。本日も忌憚のないご意見をよろしく願います。

### 前回の報告

山本：前回、第88回番組審議委員会で審議した番組、Link（リンク）のご報告です。

議事録詳細は、ラジオエフ公式HPからご覧いただけます。

毎週月曜日の午後11：30から放送しているLink内コーナーSDG'sに特化したコーナーをお聴き頂きました。ゲストはイデキョウホーム社長の井出克広さんでしたが、色々なご意見をいただいた中で、限られた時間の中で要点を絞り伝える事が分かりやすいのではというご意見をいただき、私どもが日々、番組制作する限られた時間の中で、どこにポイントを置いてという所は日々苦心している所です。非常に有意義なご意見をいただきありがとうございました。番組ディレクターや担当者含め、改めて再考して行ければと思います。ありがとうございました。

## 番組審議

- ・テーマ 番組 Be Smile内コーナー「ミスどん底先生の人生相談」
- ・放送日時 2020年12月2日(水)  
(毎週月曜日 12:15~12:30 OA 生放送)
- ・出演 ナビゲーター：宮坂智恵子さん・渡辺りな(ラジオエフ)
- ・番組編成制作方針、説明
- ・質疑応答

山本：今回の審議番組は毎週水曜日の **Be Smile** という番組の中で放送している、午後12時15分から12時半まで放送しているコーナー「ミスどん底先生の人生相談」という10月から始まった15分コーナーをお聴きいただきます。出演はナビゲーターの宮坂智恵子さんとラジオエフの渡辺りなさん。内容的にはAMラジオにもよくあるオーソドックスな人生相談という内容ですが、講師としてお迎えしている宮坂智恵子さんは非常にユニークなキャリアの持ち主で、幼少期から数々の色んなご苦勞をされてきた中で、現在は家庭教師を経営しつつ、ご自身の経験を活かし全国各地で公演活動をされていらっしゃる方です。プロフィール詳細については別紙、番組資料をご覧ください。現在、社会問題にもなっている児童虐待や貧困など、色んな所で問題を抱えたお子様や親御さんへ向けたアドバイスしているコーナーです。今日お聴きいただくのは12月2日に放送された回です。お聴きください。

## 約15分後

山本：以上になります。遠藤委員長ご審議の程、よろしくお願い致します。

遠藤：今の話題ですが、今までにない様な内容でした。山本さんどうですか？

山本：人生相談というのは昔からある物ですが、特に質問に答える方のキャラクターや資質を問われる部分がありますので、番組制作者側の立場としては手を出しづらい部分があります。聞き手側であるラジオエフナビゲーターの渡辺が今回、宮坂さんと出会い、お話しをする中で是非、こういった人生相談コーナーを放送したいという思いから、スポンサーを募って放送が実現しています。

遠藤：非常に興味を持って聞くことができました。長橋さんご商売柄いかかでしょうか。

長橋：非常に良い番組だと思います。実体験に基づいたお話しは言葉に重みがある。自殺など、少し触れにくいデリケートな部分でとても扱いにくいテーマでありながら、皆さんが一人で抱える悩みを相談できるということは、相談者にとってもすごく良い答えとなる。渡辺さんの聴き方、やりとりも非常にうまい。貴重な人材をみつけたのではないのでしょうか。今日は、番組タイトルを見て是非、何が何でも来たいと思ってきました。

小沢：私も、過去に何名か死にたいという方に会ったことがあります。口に出して死にたいという人は死なないが、確かにシグナルを出している。先日、ある不動産屋さんの話ですが、お店を貸している古着屋さんがコロナの影響で家賃も払えない状況になり死にたいという方がいらっしやったそうで、大家さんはこの話を聴いて家賃を無料にしてあげたそうです。困っている人はシグナルを発しているし、助ける事もできるが、本当に大変な人は何もせず死んでしまう様に思います。

遠藤：稲葉さんいかがでしょうか。

稲葉：ナビゲーターの渡辺りなさんをよく知っています。SBS に行って現在ラジオエフにいらっしやいますが、ものすごく成長した様に思います。親心で聞いていました。渡辺さんの中で、宮坂さんの話に共感できる事があったのではないかと思います。2人の話を聴いて良いと思った所は、テーマの自殺という話は暗い話ですが、話し方が明るい感じがするし、宮坂さんも笑いを入れるなど、受け取る側が深刻にならずに聴けるのではないのでしょうか。

小沢：宮坂智恵子さんはこの番組をはじめのあたり、協賛スポンサーを集めに回りましたが、宮坂さんのお知り合いである蒲原のスルガ重機建設様は私の昔のお客様という事もあり、一緒に営業させていただきました。宮坂さんは昔のご苦勞をたくさんお持ちの方ですが、ものすごく明るい方です。

稲葉：そこを明るく笑ってすごせる人はすごい。こういう人がもっと世の中に出てもらえると良い。

遠藤：そうですね。いわゆる先生みたいなタイプでアドバイスするだけではダメ。

土井：相談の内容がいきなり「死にたい」という事で、内容が重いテーマでしたが、ご自分の経験に基づき色々なアドバイスをしてくださるという事で、お話しテンポも非常によく聞きやすかった。最終的にどうしようもなくなったら心療内科、専門的な所へ誘導というのも良いですが、できれば物事には何らかの原因が必ずあると思うので、生活困窮や精神など、様々なことに相談に乗ってくれる市役所の福祉部門などにお気軽に相談できますよという紹介内容を盛り込んでも良い。市役所には総合相談窓口みたいな所が必ずありますので、DVや児童虐待など、一つの窓口で対応してくれる場所もある。こういう情報も是非、盛り込んで欲しいと思う。この様な内容は聞く側も真剣に聞くとおもいます。

遠藤：ありがとうございます。最後にご紹介していたラジオエフへの悩み投稿フォーム。これも良いですね。相談は結構あるのでしょうか。

山本：10月から始まったばかりの新コーナーなので、まだそんなに認知されていないと思いますが、今放送で使用させていただいているのは宮坂さんに直接、実際にあったご相談内容からご紹介させていただいていると思います。ラジオエフにも何件か相談はあった様です。今後は内容にもよりますが、番組に届いた相談を積極的に取り入れて行ければと思います。なくはないけどまだ少ないという所ではないのでしょうか。

遠藤：これから増えていくかもしれませんね。毎週水曜日に放送しているのですね。

長橋先生は、お仕事される日常で、こういう悩みにお答えする事がありますか？

長橋：だいたい、30分の相談を受ける場合、純粋な法律相談は5分程で残りの約25分は人生相談という感じでしょうか。悩みを抱えてる人は、悩みを聞いてあげるだけでかなり楽になる。ラジオでは、悩みを話す側にはならないが、法律問題とはまた違う内容で、親族や近所の信頼できる方に相談する様な内容。こういう番組は良い。私たちの仕事では、離婚などの男女関係や借金、相続などのお金の問題であれば兄弟の悪口などが多い様に思います。

遠藤：私がこの番組で感じた事は宮坂智恵子さんはお話しの中で人生の9割が悪い事で良い事は1割とおっしゃっていました。どこまで本当かわかりませんが、相当苦しい思いをされてきた方だと思います。話す口調やテンポには、安心感を与えるというか、信頼を感じさせる話しのできる人だと思います。良い方を採用したと思います。

長橋：実体験されている分、聞いていて希望が持てる。お話しを聞いていると、自分は不幸でないと思える。幸福か不幸かという部分は結局、自分自身の気持ちの持ち方次第ではないでしょうか。客観的な状況が同じでもそれを幸せと捉えるか不幸と捉えるかはその人次第。

遠藤：そうですね。

山本：宮坂智恵子さんのホームページがありますが、これまでに経験した数々の辛い思い出が事細かに書かれています。宮坂さんの壮絶な人生を見て共感される方もいらっしゃるでしょうし、これだけの経験をしていけば話を聴いてくれるだろうという、どこか説得力すら感じます。私も拝見して思いました。

遠藤：おいくつ位の方でしょうか

小沢：40代位ではないでしょうか。お会いした第一印象はものすごく明るい方でした。

遠藤：こういう壁を乗り越えた方なのでしょうね。2度の離婚、母親の自殺

小沢：幼少期に両親の事業の失敗で督促が来て夜逃げをしたと聞いています。昔はよくあった事です。

稲葉：私がお子供の頃よくありました。

遠藤：私も経験した事ですが中学時代、挨拶もなしに突然、転校してしまう子がいました。このコーナーを全体的にまとめていかがでしょうか。

土井：時間が15分という事ですが今後、様々な相談を持ち掛けられると思います。

宮坂さんならご自身の経験を元に適切なアドバイスができるのではと思います。

聴いている人にもなんとなく安心させる語り口ですし、良いと思います。

稲葉：かなり重たい内容の話をもるく良いテンポで放送して頂けるのはリスナーにも安心感を与えると思う。お昼の時間帯だとなおさらで、これなら長く続けていける。

遠藤：是非、続けていってほしい。

長橋：このコーナーはテーマも良いし、出演者の宮坂さんも良い。またこれを活かせる様な渡辺りなさんの掛け合いも良く、文句なしの良い番組だと思うのでずっと続けていってください。

遠藤：ここの所、良い番組が多いですね。

山本：ありがとうございます。

長橋：批判する所がない。

遠藤：こんな所でしょうか、コロナ禍なので早く終わりにしたいと思います。  
皆さん、今日もありがとうございました。

最後に

小沢：皆さん、今日も貴重なご意見をありがとうございました。

次回の番組審議委員会は、2月17日（水）13：30から今年度5回目の開催です。

お仕事の方はそちらを優先願います。よろしくお願ひいたします。

山本：以上、本日は、どうもありがとうございました。